

令和6年度(2024 度) 学校アンケートの結果 (2024年12月実施)

保護者の皆様、学校アンケートにご協力くださりありがとうございました。

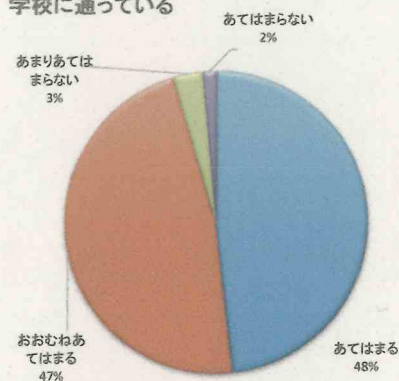
「楽しく学校に通っている」については、児童・保護者ともに肯定的な回答が9割を超えており、小学校に勤務する教職員としてうれしく思っています。一方で、「楽しく学校に通っている」に関して、1割にも満たなくとも「当てはまらない」「あまり当てはまらない」との回答があることから、今後も一層、家庭と学校が連携を深め、改善に努める必要があります。

本アンケートの結果につきましては、全職員で話し合いを深めるとともに、全項目において「当てはまる」という回答が増えるよう取り組んでまいります。ご家庭でもこの結果を参考にいただき、お子様の更なる成長を支援していただければ幸いです。

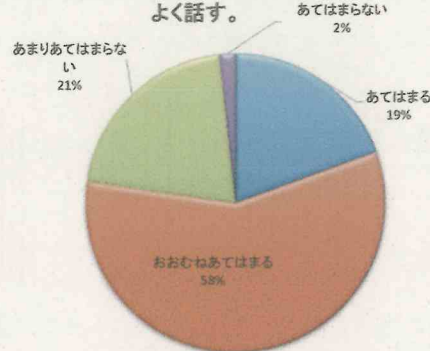
保護者と児童の回答を比較しやすいように
上段に保護者の回答、
下段に児童の回答を記載しております。

I 保護者の回答

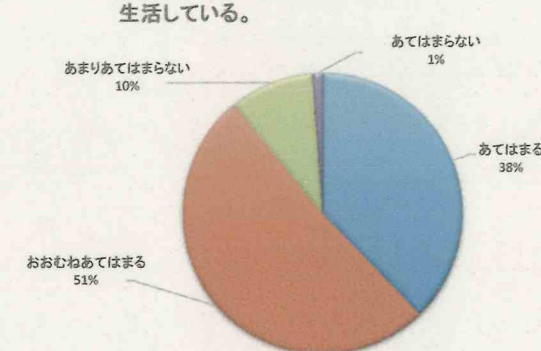
1 お子さんは楽しく学校に通っている



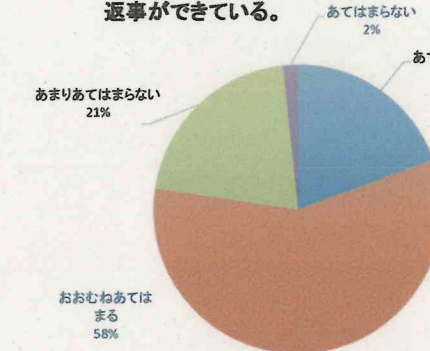
2 お子さんは学校での勉強の様子をよく話す。



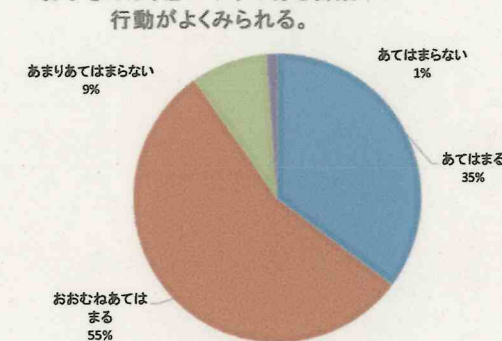
3 お子さんは、きまりや約束を守って生活している。



4 お子さんは気持ちのよいあいさつや返事ができている。

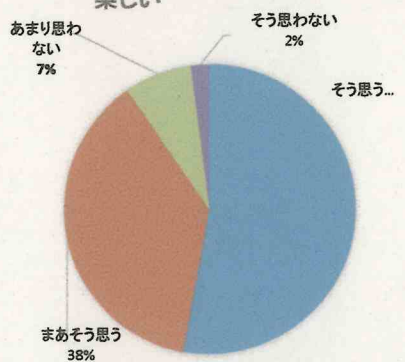


5 お子さんは、思いやりのある言葉や行動がよくみられる。

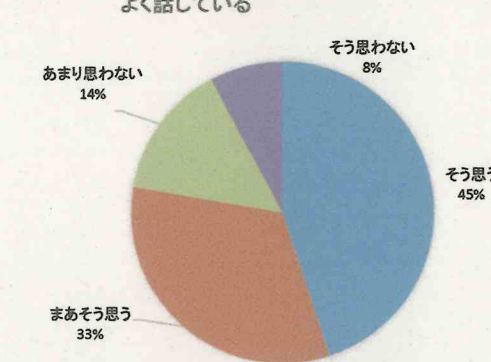


I 児童の回答

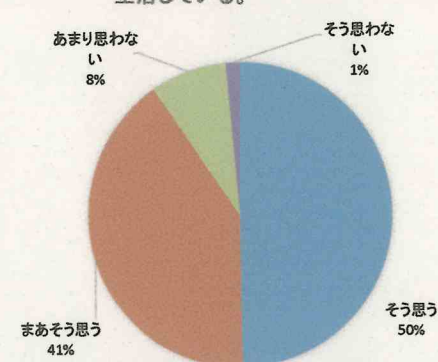
1 私は学校に行くのが楽しい



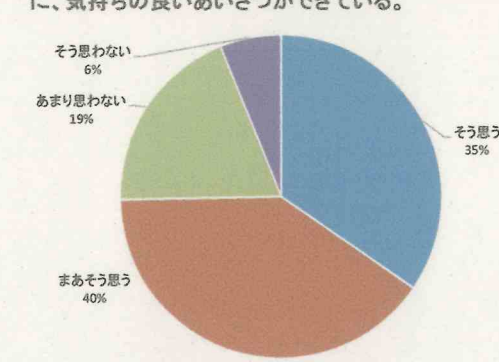
2 私は、お家の人に学校の出来事をよく話している



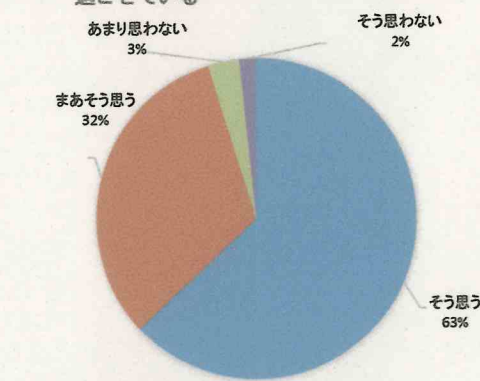
3 私は、学校の決まりや約を守って生活している。



4 私は、お家の人や近所の人、先生矢友達に、気持ちの良いあいさつができています。



5 私は、友達と仲良くして過ごせている



「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせた肯定的な回答は、ほとんどの項目で保護者と児童は同じような割合となっています。「きまりや約束を守って生活をしている」「気持ちの良いあいさつや返事ができている」という2つの項目について、まだ実践できていないと感じている児童・保護者が全体の20%を占めることがわかりました。学校としては、今後、これらの点を改善するために、学級活動や日々の指導を強化していきますが、日常生活の中で、ルールやマナーを守ることやあいさつに大切さについて、ご家庭でもお子様とお話いただき、実践を促していただ

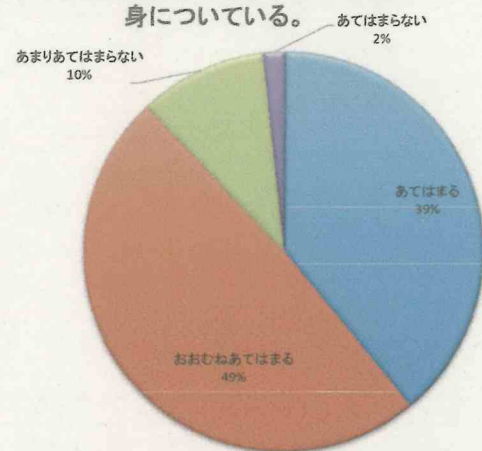
児童アンケート
回答数：584/633人
回答率：92%

保護者アンケート
回答数：349/633 人
回答率：55 %

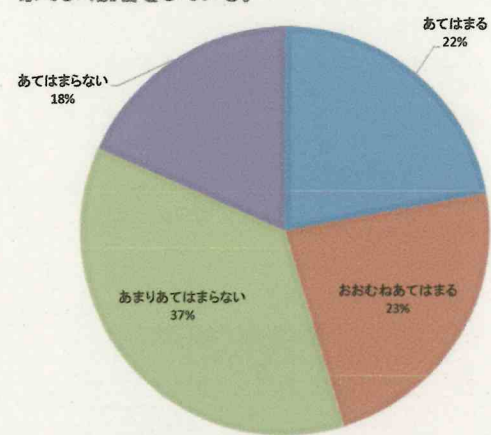
令和6年度(2024 度) 学校アンケートの結果No.2 (2024年12月実施)

I 保護者の回答

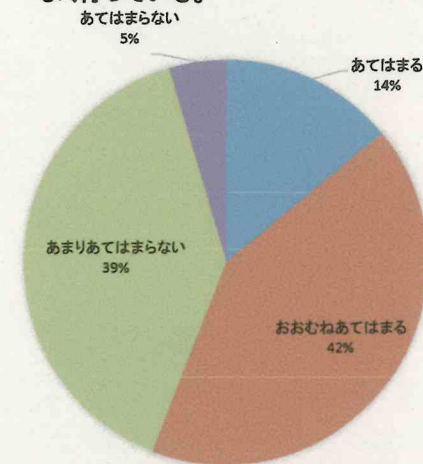
6お子さんは宿題や家庭学習の習慣が身についている。



7お子さんは、家でよく読書をしている。

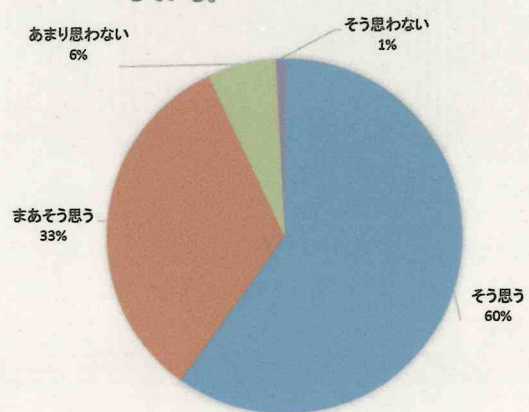


8お子さんは、家で仕事や手伝いをよく行っている。

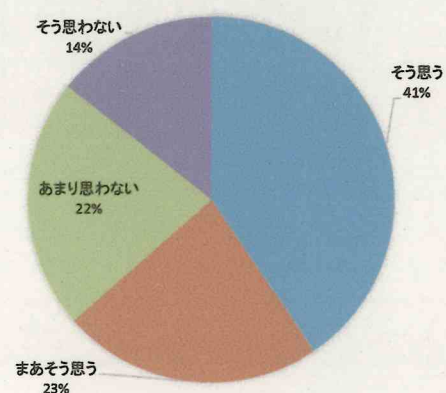


II 児童の回答

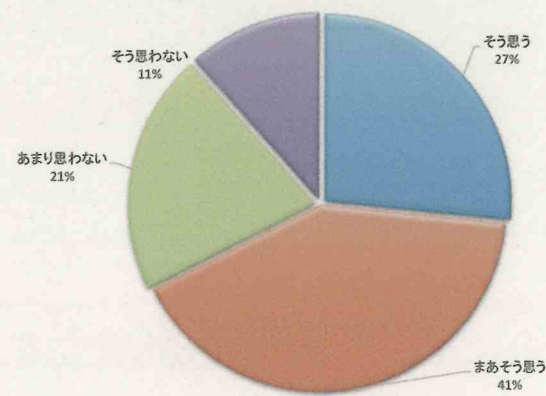
6私は、宿題や家庭学習をしっかりとっている。



7私は、家でよく読書をしている。



8私は、家で仕事や手伝いをよくしている。



保護者と児童の回答を比較しやすいように上段に保護者の回答、下段に児童の回答を記載しております。

児童アンケート
回答数：584／633人
回答率：92%

保護者アンケート
回答数：349／633 人
回答率：55 %



校内で行った学校評価で、萌ちゃん文庫と児童ホールの活用について見直す必要がという意見がありました。

阪神淡路大震災で亡くなった児童を記憶にとどめようと図書室にできた本棚が「萌ちゃん文庫」です。

震災から10年目に校舎が新校舎が新築され、「震災と向き合う場所にしよう」と、防災関係お本を充実させ、児童ホールに「萌ちゃん文庫」が移設されました。

児童ホールに「萌ちゃん文庫」が移設された当時、子どもたちがホールに集まって本を読んでいたようです。

以前のように、児童ホールに子どもたちが集まって本を

読書について～アンケート結果～

「そう思う」「おむねそう思う」を合わせた肯定的な回答は、ほとんどの項目で児童と保護者は同じような割合となっており、保護者と児童の意識にあまり違いがないです。

しかし、「読書をしている」という項目の肯定的な回答が児童と保護者の意識に違いが見られます。それは、児童が漫画やクイズ本、攻略本なども読書と捉えているためだと考えられます。

全国学力・学習状況調査の結果では、「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)」という項目で、本校の児童は全校平均よりも多くの本があると回答としており、ご家庭での読書環境が整っているということがうかがえました。一方で、今回のアンケートで36%の児童が「あまり読書をしていない」と回答しています。この結果から、身近に本がある環境であっても、実際に読書を習慣としている児童はそれほど多くないことがわかりました。

また、保護者の方から、「昨年度は読書週間の時に『親子読書』という取り組みがあり、親子で読書をする機会が持てたが、今年度は実施されなかった」という意見をいただきました。こうした声を受け、来年度は学校の読書環境を整え、改めて「親子読書」の機会を設け、家庭での読書週間の促進につなげていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

読書は、子ども達の語彙力や読解力を高めるだけでなく、想像力や表現力を育む習慣です、この状況を踏まえ、

